

ITスペシャリスト科

Web開発基礎

対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	金井			実務経験	有	職種	システムエンジニア				

授業概要

ブラウザから利用するWebシステムの基礎となる技術を学びます。

到達目標

HTML5、CSS3、JavaScriptなどのWebの仕組みを体系的に理解し、Webコンテンツの作成方法および環境構築方法を具体的に理解できるようになることを目標としている。また、実習課題でWebコンテンツを作成し、発表することでプレゼンテーションに必要な見せ方、パフォーマンス、表現力を身につけ、就職活動やその後の社会活動で活かせるようにする。

授業方法

HTML5の各要素の学習から開始し、実践的なWebコンテンツをつくるためのCSS3によるデザインやレイアウトの基礎を学び、トレンドデザイン手法なども紹介する。さらにJavaScriptについて学び、クライアントサイドでプログラムを作る演習を行う。また、制作演習を通して完成形をイメージし完成させるにはどういったアプローチが必要か、学生自身が工夫して考えることを通して実践力を身につける。

成績評価方法

試験と課題、理解度確認の小テストを総合的に評価する。授業参加度、授業態度も評価に含まれる。

履修上の注意

定期試験結果に加え、学生が自ら積極的に学習する姿勢を評価する。具体的には授業中の積極的な発言、質問、また、HTML5プロフェッショナル認定試験Level1などの資格合格、自主的なWebサイト作成、各種コンテスト出品などの実績を見る。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

HTML5+CSS標準テキスト

回数	授業計画
第1回	ガイダンス（環境設定を完了させる。HTMLドキュメントの作成方法について理解し、活用できる）
第2回	HTML基礎知識（文書構造を考慮したマークアップ方法について理解し、見出し、段落、リストなどのタグを使うことができる）
第3回	HTML5の主な要素(1)（Pathを理解し、画像の挿入、ハイパーリンクをつけることができる）

第4回	HTML5の主な要素(2) (ページ構造を作るHTML5の新要素 (見出しのグループ化、ナビゲーションなどの) タグを使うことができる)
第5回	HTML5の主な要素(3) (フォームが作成できる)
第6回	実践的なWebページを作るには(1) (CSS 3 の基礎知識セレクタの種類を知り、使い分けができる)
第7回	実践的なWebページを作るには(2) (文字や背景のデザイン手法を学び、活用できる)
第8回	実践的なWebページを作るには(3) (ボックスモデル回り込みレイアウトなどのUIデザインを学び、活用できる)
第9回	実践的なWebページを作るには(4) (マルチカラムレイアウトやグリッドデザインを知り、レイアウト演習にて活用できる)
第10回	制作演習(1) (これまでの知識を元にWebページを制作できる)
第11回	制作演習(2) (これまでの知識を元にWebページを制作し、完成させる)
第12回	JavaScript基礎知識 (JavaScriptについて学び、クライアントサイドで動くプログラムのメリットを理解し、説明できる)
第13回	jQueryについて (短いコードでよりリッチなUIの実装が可能であることを学び、説明できる)
第14回	jQueryを活用した制作実習 (jQueryを用いて、ユーザの動作に動的に対応したデザインやアニメーションなどを実装できる)
第15回	総合制作実習・まとめ (これまでの知識を元に制作実習を行い、定期試験範囲を明示し、主体的に試験勉強ができる)